

私は今年、大学院に進学しました。  
そこでは機械工学のエネルギー分野に関する勉強をしています。  
また、勉強と並行して燃焼に関する研究を進めています。  
座学においてはもちろんのこと、研究においても装置の使い方やその活用例、  
さらには使用する際ミスしやすいポイントなど様々な点で  
今まで知りえなかった新しい事柄を知り学ぶ日々を送っています。  
将来は、今大学で学んでいるエネルギー分野の  
再生可能エネルギー有効活用に関する職業に就きたいと考えております。

中学2年生の時に学志舎に通い始めました。  
学志舎では学校のテストや長期休暇の前には、  
計画を必ず立てることを教わりました。  
計画を立てることも勉強の1つと言われたことが印象に残っています。  
“計画を立てる”とは  
ただ日数に対してやらなければいけない量を等分するのではなく、  
1つ1つの問題の傾向から自身の得意不得意に合わせ  
その問題にかかる時間を予測することで、  
発揮できる最大を割り当てることだったのです。  
今でも1日や1週間といったスパンで計画を立てることで  
モチベーションを保ったり時間を有効的に活用したりして  
充実した日々を過ごすことができます。



「卒塾生 学志舎で語る」vol.11

「卒塾生 学志舎で語る」  
バックナンバーはこちら

卒塾生 山田 悠貴 岐阜大学 大学院自然科学技術研究科エネルギー専攻

## 力を何%出せたのか？ 自分で採点する。

点数よりも、大切なものと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。

「コーチ (coach)」とは「馬車」の意。

ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。

学志舎で心に残っていることはリレーマラソン大会に参加したことです。  
塾に入って初めて参加したイベントでした。  
この大会は木曽三川公園に全国から約250チームが集まり、  
42.195kmをタスキリレーするものでした。  
私たちは同学年10人でチームを作り、1周2kmのコースを2回に分けて走りました。  
2回目にタスキを受け取った時、タスキが汗で少しぬれていました。  
皆が一息懸命走り、私までつないでくれた証です。  
それに応じて走らねば、という思いで次の仲間へとタスキをつなぎました。  
一見勉強とは無関係のように感じますが、  
同じ学年の生徒とタスキをつなぎゴールまで協力して走ることは、  
生徒同士の仲がより深まったり意識しあったりするきっかけになりました。  
仲間とつないだ「タスキ」とは、今思えば「心」だったと思います。  
そしてこの経験があったからこそ  
受験までの間互いに励ましあったり時にはライバルとして共に競い合ったりして  
目標に向かって走りきることが出来たと考えております。

大学受験が近づくと、不安から自分の視野が狭まり  
コンディションもよい状態に保つことが出来ていませんでした。  
その中で、前向きな言葉で、でも気負わないような  
優しい言葉をかけてくださった塾長・事務長・そしてコーチの方、  
2人3脚で目指すべき目標を示し続けてくれた河合コーチには大変感謝しています。  
今私は生徒に教える立場のコーチとして働かせてもらっています。  
私の見てきたコーチの方々があるべき姿であり、  
指標として生徒に対して寄り添い共に成長していけるような  
コーチになるべく努力し、生徒に接しています。

悠貴くんは、何事にも誠実に真面目に取り組める生徒だと第一印象で思いました。  
マンツーマンでは、センター対策をよく行っていました  
僕のアドバイスを吸収しようと、何度も質問してくれたことをよく覚えています。  
どんなことにも真摯に取り組める姿勢は勉強だけでなく、  
今後の就活や仕事でも彼のアドバンテージになると思います。  
大学に入ることがゴールではなく、まだまだ立ちはだかる困難が  
沢山あると感じているのではないのでしょうか。  
彼ならひとつひとつ丁寧に課題をクリアし、  
目標を達成できると信じています。  
今後の彼の飛躍に期待しております。

担当コーチ 河合純兵 消化器外科医



# 学志舎

智をつけよ そして人の為に活かせ



築100年の古民家



1F 小中学生教室



2F 高校教室

〒500-8085 岐阜市白木町92番地  
【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索

# 本気になれた経験はこれからの人生を支えてくれる。夏期講習会 2022

さて、これからの話は、勉強が好きなあなたにはあまり役立たないので読む必要はありません。  
TVの方が、漫画の方が、ゲームの方が好きだと言うあなたには是非読んでもらいたい話です。それではいきますよ!

突然ですが、「マシュマロ・テスト」というのをご存じでしょうか?  
え?マシュマロ?テスト?何かの教育雑誌などで読んだ人もいないかも知れませんね。  
これは、1970年にウォルター・ミシェルとエッペ・B・ベッセンらの心理学者が、スタンフォード大学の学内付属幼稚園で、186人の児童を対象に実際に行われた、心理学研究のための有名な実験です。  
で、どんな実験かというところ...  
ある部屋に集められた4歳の子供たちの前にマシュマロを一つずつおきます。そして実験者が部屋を出る前に子供たちに一言。  
『ちょっと用事があるのでおじさんは部屋を出るね。今配ったマシュマロは食べてもいいけど、おじさんが戻ってくるまで食べずに我慢が出来た子には、ごほうびに、マシュマロをもう1つあげるね。』  
さあ、4才の子供には、大変な試練の場です。あなたが4歳の子供だったらどうするでしょうか?  
実はこれ、「欲求の充足」を先延ばしする(つまり、ガマンする)能力という心理的能力をためす実験だったのです。  
4才時点での子供たちの反応は、じつに様々だったようです。


- ① 腹が減っては戦はできぬ、と我慢しないでいただきます派?
- ② いやいや、ここは忍の一字で、もう一つもらっちゃおう派?



さて、結果です。  
②の「忍の一字で、もう一つもらっちゃおう派」の子供たちは待っている間、両手で目を覆ってマシュマロを見ないようにしたり、腕組みをしたり、顔を伏せたり、独り言を言ったり、歌を歌ったり、中には眠ってしまおうとしたり、「食べたい!」という欲求に対して、その子なりに戦いながら、実験者の帰りを待っていたそうです。  
①の「我慢しないで、いただきます派」の子供たちというと、実験者が部屋を出るや否や、なんと殆どの子供が、間髪いれずに美味しく頂いたそうです。そして、こちらの人数の方が多かったそうです。  
さて、この研究で面白いのは、この実験に対する4才時点の反応に加えて、その子供たちが高校を卒業するまで、なんと14年間も追跡調査した点です。そしてその結果分かったことは、

①「我慢しないでいただきます派」のその後  
対人関係を避け、小さいことにも動揺する。ストレスに弱く、自分を駄目だと思い、自身が無い。  
感情に起伏が激しく、言い合いやケンカになりがち。成績が②のグループより低い。

②「忍の一字で、もう一つもらっちゃおう派」のその後  
対人能力に優れ、自己主張が出来る。ストレスに強くプレッシャーに混乱しない。  
困難な課題にチャレンジし、クラスプロジェクトに積極的に参加する。学習意欲が高く成績も①のグループに比べ良い。

 <https://gakushisha.com/>  
詳細はHPを御覧ください

学志舎 検索

さらに大学進学適性試験には次のような差がつかしました。  
ウォルター・ミシェルの娘も実験に参加した一人でしたが、娘の成長につれ、ミシェルは実験結果と、児童の成長後の社会的な成功度の間に、当初予期していなかった興味深い相関性があることに気がつきました。  
そして1988年に追跡調査が実施されました。

その結果は、就学前における自制心の有無は十数年を経た後も持続していること、またマシュマロを食べなかった子どもと食べた子どもをグループにした場合、マシュマロを食べなかったグループが周囲からより優秀と評価されていること。  
さらに両グループ間では、大学進学適性試験(SAT)の点数には、トータルスコアでおおきな差が認められるというものでした。

①グループの平均点	言語分野	534点	数学分野	528点
②グループの平均点	〃	610点	〃	652点

ウォルター・ミシェルはこの実験から、生まれ持ったIQより、後天的な自制心の強さのほうが将来の大学進学適性試験の点数にはるかに大きく影響すると結論しました。  
2011年にはさらに追跡調査が行われ、この傾向が生涯のずっと後まで継続していることが明らかにされました。

さてここからが本題です。  
「勉強」はこの我慢の絶好の練習となります。ただし条件があります。TVや漫画、ゲームの方が勉強より好きだと言うこと。  
そんな欲求を押さえて勉強することで能力は伸びるのです。「勉強」と言う字を見て下さい。  
「強(し)いて勉(つと)める」と書きます。つまり字の意味は無理やり頑張ると言うことなのです。  
好きなことは何時間でも抵抗なくできます。楽しくないけど自分にとって必要だから頑張る。  
そこに「我慢」する「努力」する能力が養われるのです。だから、勉強は嫌いで結構なのです。  
もちろん算数や数学で、一生懸命考えて解けたときの喜びはあるでしょう。子供は好奇心の塊ですから。  
知ることの喜びはあります。それでも勉強よりも遊ぶ方が、TVを見る方が、漫画を読むほうが、ゲームをする方が、一般には楽しいのではないのでしょうか?  
夏休みは学校から解放されます。受験生以外はスポーツに励むのも、友人と遊ぶのもいいでしょう。  
しかし、この期間の過ごし方いかんでは、秋以降に大きな差がつかます。

勉強をさぼって遊びたいという欲望のマシュマロを今食べるか、  
ちょっと我慢して計画表に書いた今日の勉強を頑張るか、この夏 あなたはどっちを取る?

## 自律学習の徹底

「言われたことはきちんとこなすが、自分で考えて行動を起こすことが出来ない子供が多い」と言われる昨今、学志舎は「学力」=「学ぶ力」すなわち「自分で考えて、学習できる力」と位置づけ、徹底した自律学習指導を行うことにより、自分で考えて行動できる子どもを数多く育てています。



勉強の習慣付けを徹底

### 小学部

中学・高校の6年間で花開く「基礎学力」を徹底して作るコース



朝6時オールナイト学習会終了

### 中学部

高校受験のための教科力と自律の養成を徹底して行うコース



合格おめでとう!

### 高校部

本格的な大学受験のための学力形成を徹底して行うコース

## 褒める教育の徹底

褒め上手な親の子は伸びる子供が多い、もしくは学力が高い生徒が多いというのは、25年の経験の中で間違いありません。  
学志舎は19年前に岐阜県では初めてコーチングを導入し、お子さまの存在を認め、良いところを褒めることを徹底して行うことで、お子さまを大きく伸ばしています。

詳細はHPを御覧ください

〒500-8085 岐阜市白木町92番地  
【お問い合わせ】平日10:00~21:00

☎ 058-265-4562

【感染症対策実施中】



<https://gakushisha.com/>

学志舎 検索